



# 薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校  
学校便り No.24  
令和7年 3月11日  
文責：校長 齋藤和彦

◆◆ 校長室から ◆◆ (東日本大震災：追悼の日に 昼の放送にて)  
～ 「今日 3月11日は、私達にとって特別な日です」 ～



今日「3月11日」は、私達にとって特別な日です。  
東日本大震災から14年目の日です。14年前は、6年生の皆さんが生まれる2年前の年です。  
これまでに経験したことのない巨大な地震、その後の想像を絶する巨大な津波、そのうえに原子力発電所が壊れて、見えない恐怖：放射能が放出されました。人類史上でも大変な事態でした。

この特別な日を迎えるにあたって、昨年は『命のお話と、目標に向かって努力している友だちのお話』をしました。今日は、『薫小学校の先生のお話』をします。



この地震が起きたとき、校舎も校庭も周辺の道路も木々も..波打つようにグラグラと大きく揺れました。ガシャガシャという激しい音とともに、教室の机や椅子は床をすべるように..重いピアノまでが押さえようもなく動き..ロッカーの上の作品も次々に落ちて..図書室では、ほとんどの本が床に散乱しました。子ども達は怖がって泣き叫ぶ子もいました。先生達も怖かったはずですが。

当時の校長先生の指示で、全ての先生が子ども達を安全な場所(校庭)に避難させました。時折、大きな揺れが戻ってくる階段の手すりをつかみながら、不安がる子どもの手を取って..。～学校にいた子ども達の無事を確認し、帰宅した子ども達も皆無事であったことに安堵しました。翌日から、学校は休校となりました。皆さんの家も家族も大変な混乱と不安・恐怖を抱きながらの日々だったことと思います。先生方の家や家族に対する思いも同じはずですが。

ですが、先生方は、翌日には学校に来て、校舎内の途方もない散乱状況の修復にあたりました。校舎・体育館は、避難所となり..多くの地域の方々が避難してきました。この方々へのサポートにも力を尽くしました。お店に並んでいた食べ物は、どこに行ってもほとんど売り切れでした。

先生方は、避難者への食事や生活品の配給、多くの方々の様々な困り事の声にも応え、学校に寝泊りした先生もいました。明日の見通しも立たない中で、今、自分にできることに動きました。

同時に、子ども達が学校に戻ってくる日のことを考え..まずは、何としても卒業式をしてあげられるようにと思案を尽くしました。(卒業生全員の出席を願い..会場のこと、お祝いの演出、各家庭の被災状況を案じながら..できるだけ皆が同じ気持ちで出席できる式にしたかったのです。)

卒業式は、何とか..体育館で、校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。(次第短縮)翌年の新年度の入学式・始業式は遅れて始まりました。市内県内ほぼ全域で、放射能の危険性から、外での活動は制限され、楽しみにしていた行事のほとんどは、自粛..中止となりました。

薫小の先生方は、入学した1年生に薫小を大好きになってほしくて..全校生の力が結集する思い出の運動会だけは..外で学ぶ体験に代えて..日々の授業にも..と、できる限りの工夫を凝らして、“できない”とか“無理”ではなく、それを補い..できる方法を模索し続けました。

校舎や校庭、通学路の放射線量を下げるときの除染作業にも保護者の方々の力を借りて、休日を問わず奔走しました。毎日、早朝から暗くなるまで作業をしたことを用務員さんから聞きました。

そして、誰もが、子ども達の学びを止めないことに全力を傾けました。懸命に努力する先生の言葉には、ときに“強い言葉”もあります。～少々の困難や不自由、不遇に負けずに、自分の力(仲間と)で前に進もうとする力を育てたい。ここで、がんばれば..この子はきっとできる!もっと伸びる!～こんな“先生の感”に裏打ちされる応援エールです。※この姿は、今の薫小の先生も同じです。

皆さんから(保護者さんから)「先生が厳しい」という声を聞くときがあります。私は、先生が本気で皆さんの力を引き出したいときの“本気度”の表れ(必要な厳しさ)であるととらえています。

“先生の本気の言葉”には、そこに込められた意味や期待、メッセージが必ずあるものです。(※先日の参観日：学年懇談会、また学年集会で、保護者や子ども達に校長よりこのことを説明：伝えた学年もあります。)

皆さんは、毎日..本気で..苦手なことにも「がんばっていますね」。

校長先生は、そんな薫の子の姿が大好きです。担任・学年の先生を信じて、薫小の先生と一緒に本気でがんばってほしいと願います。

今日 3月11日は、東日本大震災の大変なときにも、できる限りのことに「本気で向き合い」「一生懸命にがんばってきた」大人や子ども達がいたことを忘れない..「特別な日」なのです。

卒業まで、新しい学年まで、あと7日です。薫の先生を信じて、一緒にがんばっていきましょう。

